

# 野田・九条通信

2006年・1月号  
NO. 6  
「野田・九条の会」事務局  
TEL 7122-0502

## 新年 明けましておめでと〜ございませ 決意新たに 平和と憲法を守る運動を更に広げよう

「野田・九条の会」  
昨年二月に発足

大江健三郎さんや井上ひさしさんなど、日本を代表する文化人がつくれた「九条の会」のアピールに込め、「野田・九条の会」が昨年二月に発足

以後、五月には北部公民館で「戦争とは何か：もし憲法九条がなかったら」と題し、初の九条集会を開催しました。

八月には、終戦六十周年を記念する「早乙女勝元さんの講演とアニメの一日」を興風会館で開催し好評を博しました。

同時にアピール賛同者の賛同金により「意見広告チラシ」を各新聞に折り込みました。現在では「賛同者」が四百二十名を超えました。

一方で自民党が  
新憲法草案を発表

イラク戦争への「自衛隊派遣」や「靖国参拜」問題が国際問題になっていくとき、自民党が「新

憲法草案」を発表しました。九条二項を変え、自衛隊がアメリカ軍と一緒に海外で戦争ができる国にしようとするものです。

今年の通常国会では、与党を中心に「国民投票法案」を提出し、本来最大限の自由が保障されるべき投票運動にさまざまな規制をかけ、改憲のための法律を押し通そうとしています。



憲法公布六十周年に当る今年、平和憲法は最大の危機を向かえています。

「九条を守れ」の声を  
大きな流れに  
日本国憲法は、世界に誇れる日本の宝です。今世界では、無法な戦争を許さず、「戦争のない世界」をつくる流れが広がり、憲法九条が注目されています。「九条守れ」の声を広げるときです。

## 九条への想い 藤島 高(元高等学校長)

### 無言の帰還

私が小学校(当時は国民学校初等科)に入学したのは、1941年4月1日であった。この年の12月8日にわが国は米英

方の損害は軽微なり」私には子供心にも嬉しかった。しかし、このニュースは真実ではなかった。

私が、小さな白い木箱に入って無言の帰還を出迎えたときは止め処もなく涙が出た事を今も忘れることが出来ない。二度とこんな悲しいことはして

12月8日にわが国は米英真珠湾の米海軍に奇襲攻撃をかけた。戦争が長引くに従いわが国の損害は大きくなり、物量的に有利なアメリカにかなうす

本士が空襲を受けるようになってからも、学校では私達生徒にその内「神風」が吹いて敵軍は木々端微塵になる。決して負けることはない、軍国主義教育が徹底して私達

私は新制中学で「新しい憲法」を学んだ。新しい憲法は、明治憲法と違って「主権は国民にある」と「平和主義で世界中の人権を尊重して差別をしない」の三つの柱から

しもなく負け戦が続いた。しかし、この時のニュースは威勢のいい軍艦マ

ち少年は立派な軍国少年になっていた。疑うことはなかった。ただ、同級生の父親や近所の私を可愛がってくれたアンチャ

平和は素晴らしいことです。是非維持したい。

## 活動報告

◎十二月例会を開催  
十日に「十二月例会」を開催。経過報告をした後、「高遠菜穂子氏講演会」開催について、当日運営を含めて打ち合わせ

ました。「イラク戦争から日本の平和を考える」をテーマに「命に国境はない」と題し講演。「会」からの訴えをします。

次に、アニメ「ガラスのうさぎ」上映について話し合われました。太平洋戦争が風化しつつあるとき、子供が見ても分かるアニメを通して、大人と子供が世代を超えて「戦争と平和」を話し合う機会を作る必要性を訴える事にしました。

◎「ガラスのうさぎ」  
試写会を開催  
「ガラスのうさぎ」二月上映に先立ち、約三十人が参加して試写会を開催。参加者からは、「戦争はもっと悲惨なもの。しかし良くえがけています」「憲法を片手に『日本はもう戦争をしなくて良くなった』と言って走る場面が感動的」の感想が寄せられました。

「平和主義で世界中の人権を尊重して差別をしない」の三つの柱から出来ていると習った。

愛がなくてくれたアンチャ

愛がなくてくれたアンチャ

愛がなくてくれたアンチャ

イラク戦争から日本の平和を考える

# 講演 「命に国境はない」

報道の見えない壁の向こうで、  
イラクでは何が起きていたか？

講師 高遠菜穂子さん

日時 1月21日(土) 1時開場

場所 野田市中央公民館 (資料代 500円)



主催「野田・九条の会」 田口7129-4297 田中7122-0502 松本7122-8704

長編 アニメーション映画



# ガラスのうさぎ

高木敏子原作 終戦60周年記念作品

日時 2月25日(土) 4回上映上映します。

①10:30~ ②14:00~ ③16:30~ ④19:00~ 上映開始  
開場はそれぞれの30分前からです。

場所 野田市櫛のホール小ホール (東武野田線愛宕駅15分)  
駐車場が少ないのでなるべく公共交通をご利用ください。

参加費 大人 前売り 1,200円、当日 1,500円、  
子ども 〃 800円、〃 1,000円 (小学生から18歳まで)

主催「ガラスのうさぎ」上映実行委員会 武智7129-6698  
子ども核廃・野田、野田文学会、新婦人野田支部、のだ名画を上映する会、野田地区労働組合連合会  
野田・九条の会、NPO法人たんぼほ保育園、年金者組合野田支部、のだ戦争体験者の会、野田文化  
研究会、野田市職員組合、野田医療と健康友の会・九条の会、千葉土建一般労働組合野田支部、